

事業所名

療育センターなないろ

## 支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		一人一人の子どもが地域で暮らしやすい環境のもと、適切な支援を受けながら自立の道を行って行くことを念頭に、児童発達支援センターとして総合的な発達支援を行って行く地域拠点として運営していくことにあります。そして関係する園や学校、その他機関と連携し、子どもたちの共生社会の実現に貢献します。						
支援方針		発達支援については、専門性を高めた職員による具体的評価・分析を行い、根拠に基づいた支援内容を立案し、提供していくことに重きを置きます。						
営業時間		8 時	30 分から	16 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	子どもの心と体を健康に育てることに重きを置き、些細なサインにも気付けるようにします。生活リズムに着目し、基本的な生活習慣の形成を目指します。日常生活の中で必要となるトイレや食事、着替えなどの基本動作の自立度を把握し、機能面（認知面、行動面、運動協調性、ボディイメージ、筋発達、関節の構造と可動性など）の原因分析の基にアプローチを行います。その上で実際の動作を練習しながら自立度の促進を目指します。必要に応じて自助具や補装具などへの支援も行います。						
	運動・感覚	姿勢や運動スキルの状態把握を行い、遊びを中心とした運動を通して生活に必要な身体動作の向上を目指します。身体機能の未熟さに対しては、運動機能に特化したプログラムだけでなく、特性による運動の苦手さなどに対してもアプローチを行います。感覚や認知の特性に応じて外部情報を調整しやすいアプローチを提供することや、環境調整により上手く感覚処理が行えるようにサポートします。						
	認知・行動	概念認知をはじめとする、認知機能の向上を目指します。集団活動の中での全体指示への注目、注意力、集中力などの集団適応力向上に向けたアプローチを行います。また、ワーキングメモリをはじめ、全体指示理解力を高める取り組みを行います。情緒面においては、気持ちのコントロール力を始めとする、気持ちの安定化に向けた適切なクールダウンや関わりの中で、情緒的なサポートを行います。						
	言語 コミュニケーション	発語、理解といった言語における基本的スキルを高めるアプローチを行います。また、お友だちや先生との関わりの中で、やりとりの経験値を高め、コミュニケーション力向上へのアプローチを行います。言語スキル向上に向け、概念形成を高め、言葉の理解力や物事の関係性の理解に向けた取り組みを行います。						
	人間関係 社会性	お友だちや先生との関わりの中で、人間関係の構築、社会性の構築を目指します。遊びを通して、様々な経験に繋げながら子どもたち同士での遊びの構築や、試行錯誤を重ねていくようにサポートします。						
家族支援		個別のカウンセリングを通して子育て上の課題を聴取し、家庭としての関わり方や特性への理解の支援、家庭単位での関係機関を交えた支援体制を構築します。			移行支援		地域の園への移行や就学移行などにおいて、発達段階を専門的に評価し、望ましい移行先の提案や必要な連携を行います。併行通園の場合は、具体的な方法について調整を行います。	
地域支援・地域連携		併行通園先と連絡を取り合い、支援方針を共有することや必要な助言などを行います。児童発達支援センターとして必要な地域施設へ出向き、連携を図ります。			職員の質の向上		医療職（PT, OT, ST）を含めた多職種での情報交換と研修会を通し、日頃の支援内容の質を高めるための情報の共有を積極的に取り組みます。	
主な行事等		主な年間行事として、春はいちご狩り・お祭り、夏はプール遊び・スイカ割・屋外活動、秋は親子遠足・療育参観・運動会、冬はクリスマス会・餅つき・節分イベント・卒園式・就学児との交流遠足などを行っています。保育園で経験する事の多い行事を積極的に取り入れています。日々の活動に関しては、季節に合わせた製作活動（ひな人形、こいのぼり、海の生き物、花火、どんぐり、月見団子、雪だるま、サンタクロース、鏡餅、節分の鬼など）にも取り組んでいます。						